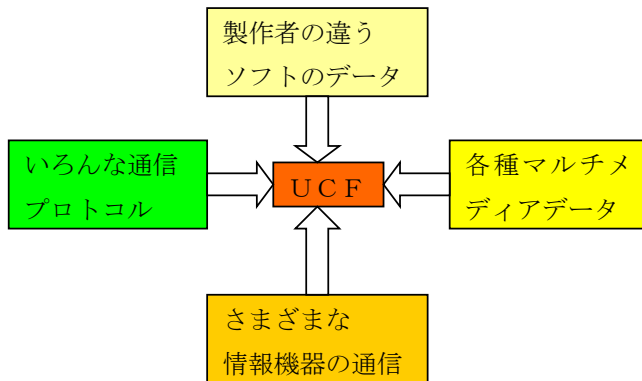


汎用通信フォーマット(Universal Communication Format)

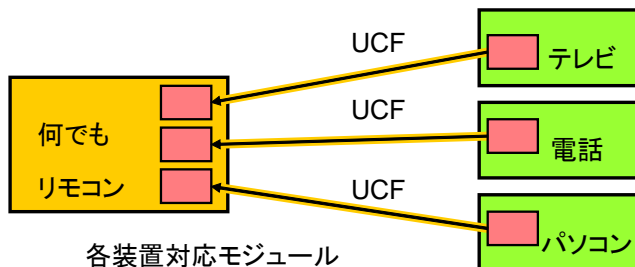
キーワード[データ表現, 通信プロトコル, 機器間通信]

教授 平中 幸雄

汎用通信フォーマットによる統一



何でもリモコン(すべての通信をUCFで行い、プログラム自体もUCFデータとして移動する)



UCFで表現され
UCFで通信する

内容:

さまざまなものが通信し合う世界が広がろうとしている。人間同士はもちろん、人間と機械、さらには機械同士が自由に通信し合う仕掛けはできている。しかし、何を、どういう形式で、どういう手順で通信するかは、統一的なものがなく、技術展開とともに混乱が生じている。

そこで、どんなものとも通信できるよう、守るべき最低限のルールを「汎用通信フォーマット」として固めようとしている。通信は「オブジェクト名」と「オブジェクト依存のデータ形式」で表し、プロトコルもオブジェクト独立で自由に定義可能な方式を考えている。ソフトには進化が必須だが、その進化を許容する通信形式とし、ハードウェアに依存しない抽象形で実現しようとしている。

UCFを利用する具体的な応用として、異種ソフトウェア間の相互通信への活用、実装用プログラム開発の可能なUCF通信シミュレータ、ネットワーク中継機器とアプリケーションが帯域利用の調整などを相互通信ではかるクロスレイヤー通信の仕組みなどの開発を行っている。

分野: 情報科学
専門: 情報ネットワーク

E-mail : zioi@ieee.org
Tel : 0238-26-3322
Fax : 0238-26-3299
HP : <http://eatz.yz.yamagata-u.ac.jp>